令和6年度第2回刈谷市学校給食センター運営委員会 議事録

日 時：令和7年1月31日（金曜日）15時30分～15時50分

場 所：刈谷市役所 503会議室

出席者：学校給食センター運営委員会委員16名、教育長、教育部長、教育総務課長、
学校給食センター所長、所長代理、主査1名、栄養教諭2名

欠席者：衣浦東部保健所長、薬剤師会代表、小高原小学校長、亀城小学校PTA代表、
小高原小学校PTA代表、子ども未来サポーターズ前会長（小垣江東幼児園）

1. 教育長あいさつ

2. 議題

(1) 令和7年度 学校給食実施計画書（案）について

(2) 令和7年度 幼児園給食実施計画書（案）について

上記の議題（1）と議題（2）は関連性が高いため一括協議とする。

(1) 令和7年度 学校給食実施計画書（案）について

<事務局からの説明>

1 栄養バランスのとれた安全な給食の提供について

学校給食摂取基準は、国が定めた学校給食実施基準にある学校給食摂取基準に合わせたものになる。特別支援学校は、障害の種類と程度、身体活動レベルも様々なので、この表を基準としつつ弾力的に運用する。

主食は週4回を米飯、水曜日にパンあるいは麺を実施する。

令和7年度の小・中学校の給食実施回数は187回。特別支援学校は185回を予定している。小学校と特別支援学校小学部の新1年生の開始は、1週間遅れての4月18日にスタートする予定である。

2 アレルギー対応給食について

小・中学校は今年度と同様に鶏卵と飲用牛乳の対応をする。

3 食に関する指導について、4 衛生管理、5 給食に関する情報提供、6 学校、家庭との連携については今年度と同様に実施する予定である。

7 刈谷高等学校附属中学校（県立中学校）への給食提供

令和7年4月から開校。本市給食センターから給食を提供する。

(2) 令和7年度 幼児園給食実施計画書（案）について

<事務局からの説明>

1 栄養バランスのとれた安全な給食の提供について

小・中学校と同様に国が定めた「特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食実施基準」の幼稚部に該当するところに基づいて実施する。

摂取基準は、国の基準に合わせたものになる。

主食は、小・中学校と同様に実施する。

令和7年度の給食実施回数は191回を予定している。3歳児の開始は、1か月遅れての5月8日にスタートする予定である。

2 アレルギー対応給食について

今年度と同様に飲用牛乳の対応をする。

3衛生管理と4その他は、今年度と同様に実施する予定である。また、夏休み期間中も給食を提供する。

<議題に関する質疑応答>

(質問) 本年度食材費8千万円程度増額としていますが、物価高騰も続いていますし、刈谷高校附属中学校開校後は喫食する人数も増えるため、給食の内容を変えないためには、予算が足りないように感じます。

(回答) 1人あたりの食材費を算出し、人数に応じて積算した結果、本年度は約8千万円増と見込みました。食材費が高騰している中、現状に合わせて1人あたりの食材費を再度積算し、令和7年度の公費負担の増額を検討することで、給食費の値上げをせずに給食を提供していきます。

学校給食実施計画書(案)及び幼稚園給食実施計画書(案)は承認された。

<給食全般に関する質疑応答>

(質問) 食物アレルギー詳細献立表を、刈谷市は紙媒体で学校へ提供してくれますが、デジタル化してほしいです。例えば、ホームページに掲載するなどの対応はできませんか。

(回答) 予定献立表はホームページに掲載しておりますが、食物アレルギー詳細献立表は掲載していません。ホームページに掲載することについては、学校の把握していないところでアレルギーの原因となる食材を取り除こうとして事故につながる懸念もありますので、その点も踏まえて検討してまいります。

<その他>

第二学校給食センターの調理委託について、来年度7月末にメーキュー(株)との契約が満了となることから、プロポーザルによる業者選定を進めており、現在2者から参加申込みがあった旨を報告した。募集期間は2月14日(金)まで。

閉会